

単元名「幕府の政治と人々の暮らし」（第6学年（2）我が国の歴史上の主な事象）

■ 本事例のポイント

1. ホワイトボードアプリを活用し、子供一人ひとりの学びを見取り、個に応じた指導を行うことで、自分の言葉で「めあてに対するまとめ」を書けるようにした。
2. 共同閲覧機能を用いて協働学習を促す環境を整えることで、子供が学習状況を把握し学びを深められるようにした。

■ 単元の目標

江戸時代の始まり、参勤交代や鎖国などの幕府の政策、身分制について、世の中の様子、人物の働きや代表的な文化遺産などに着目して、遺跡や文化財、地図や年表などの資料で調べるなどしてまとめ、我が国の歴史展開を考えるとともに、歴史を学ぶ意味を考え、表現することを通して、武士による政治が安定したことを理解することができるようにするとともに、主体的に学習問題を追究、解決しようとする態度を養う。

■ 単元の指導計画（6時間）

第1時 学習問題をつくる

「大名行列は、なぜ行われるようになったのだろう。」

第2時 学習問題の解決に向けて調べる①

「江戸幕府はどのようにして大名を支配したのだろう。」

第3時 学習問題の解決に向けて調べる②

「幕府はどのようにして人々を治めたのだろう。」

第4時 学習問題の解決に向けて調べる③

「外国との交流は、どのように変わったのだろう。」

第5時 学習問題の解決に向けて調べる④

「鎖国のもとで、外国との交流はどのように行われたのだろう。」

第6時

学習問題に対するまとめ。

■ 本時の概要

【本時の学習問題】

江戸幕府は、どのようにして大名を支配したのだろう。



ホワイトボードアプリ内で、単元の計画を提示し、めあてに向かって学習できるようにします。

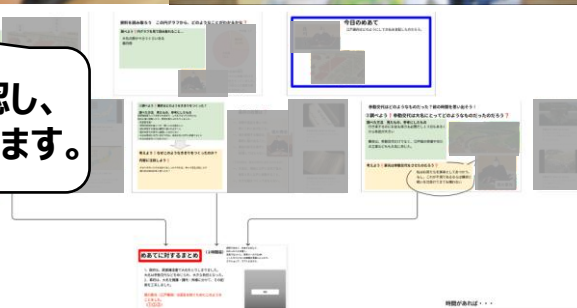


■ 学習調整をしている子供の姿

子供が学習課題を選択・決定する場面



学習計画を確認し、
個別探究に入ります。



子供が学び方を選択・決定する場面の設定



教師は、形成的評価を
しながら、子供に声を
かけます。



ホワイトボードアプリ
を見ながら子供同士
が教え合いをします。



■ 指導と評価の工夫

① 学習計画・評価規準をホワイトボードアプリで共有

- * ホワイトボードアプリに単元全体の流れを提示することで、子供が学習の見通しをもって活動を進めることができる。
- * クラス全員の学習過程をまとめた内容が同じ画面で共有されるため、子供が他者の学習方法や視点を参照することができ、自分の学習を見直ししながら、考えを深めることができる。
- * 学習計画に関しては、ホワイトボードアプリによって1時間ごとの学習の積み重ねを一画面で振り返ることができ、子供が学習間のつながりを意識し、見通しをもって主体的に学習を進めることができる。

② 形成的評価の場面の設定

- * 教師は、子供がホワイトボードアプリにまとめる様子を閲覧することで、子供一人ひとりの学習状況や理解度を把握し、本時の目標につながる形成的評価を行うことができる。
- * 概念的知識を獲得する場面で「個別探究の時間」を設けた。教師がホワイトボードアプリの閲覧や机間巡視を行い、子供の学習進度を把握する。その際、形成的評価も行うことで、概念的知識の獲得に向けた、個に応じた支援につなげることができる。
- * 教師からの支援や子供同士の学びなど「自分に合った支援」を受けながら、子供は学びを進められるため、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながる。

まとめのポイント

・めあてに対するまとめです。感想ではありません。

「どのように～？」に対して、調べて「わかった！」ことを書きましょう。

振り返りのポイント

振り返りは少し難しいです。

感想…「難しかった」「楽しかった」「嬉しかった」

まとめ…「わかった！」

+αです！

これを書くために、調べた方法 見たもの、参考にしたものを残しておこう
自分にとって、どんな学習方法がベストか探すためのものです！

- ①「～したらいいと思う」「いちばん大切なのは～だ」
 - ②「～なので、これからは～したい」
 - ③「〇〇さんの～という意見で、私の考えが変わった または 強くなった」
 - ④「今日一番の学びは～だった。理由は～」
 - ⑤「～はわかったけど、～の場合はどうなのだろう？」
 - ⑥「もし～なら～だろう」
 - ⑦「～だということに新たに気づいた」
- これらを組み合わせてもよし！

自分の学習について振り返り、よかった点や次に活かす点を考える。
いろんな学習方法にチャレンジして、自分にとってよりいい学習方法を見つけよう！

振り返り

友達のページを参考にしてみよう。まとめられることができた。
まとめが長くなってしまったり、黄色の部分が書けなかったから次はわかりやすくまとめたいと思った。

緑の部分もかけたし、黄色の部分もかけてよかった。

子供の振り返りの一部を抜粋し作成



③まとめと振り返りを区別して、学習方法を振り返る

- *「まとめ」には、本時のめあて（ねらい）に対して、分かったことを書くように指導した。得た知識を自分の言葉でまとめてアウトプットする機会を設けることで、子供のメタ認知を促すとともに、教師の形成的評価につなげた。
- *「振り返り」には、学び方の振り返りを書くように指導した。調べ方や学び方を振り返ることで、自分の学習方法について、得意な点や課題点を洗い出し、次の学習につなげていくことを目的に実施した。
- *「まとめ」と「振り返り」を分けて書くことで、学習内容と学習方法を関連付け、学習調整につなげることができる。

■成果（○）と課題（▲）

○いつでも他者参照ができる環境にしているため、自走できない子供や自信がもてない子供でも、友達の考え方と比べることを通して、自己調整をしながら安心感をもって意欲的に学習に取り組めた。

▲教師が、本時の目標に迫る視点をもつ子供の考えや気付きに着目し、全体共有の時間を設けることで、クラス全体でより深い学びの実現につながると考えられる。

※子供の振り返りに記載されている「黄色の部分」や「緑の部分」は、ホワイトボードアプリ上の付箋の色を示しています。（「■本時の概要」を参照）